

日本建設の 事業譲り受け

機動建設工業

機動建設工業は19日、日本建設(大阪市中央区、積山吉積社長)の建設事業を譲り受ける合意書を締結したと発表した。日本建設を3月に会社分割し、建設事業を子会社の日興エンジニアリング(大阪市中央区、井上隆吉社長)が継承。その後、継承会社を機動建設工業の子会社として、役員派遣や共同事業などを行いながら、業績拡大を進め

る。

日本建設は、民間建築を事業の柱とする建設会社で、商業系、工場、倉庫、店舗、集合住宅、個人住宅など各種建築物の新築、リニューアルを全国的に展開している。一方、土木工事主体の機動建設工業では、今後の業績拡大に向け民間建築工事への投資を検討していた。

今回日本建設の事業を譲り受けることで、建築・土木全般の総合的なサービス提供が可能な体制を構築。現在140億円

程度で推移するグループ全体の売り上げ規模を500億円に拡大する。将来的に1000億円の体制構築を目指し、企業買収を通じたさらなる業容拡大を図っていく方針だ。